

[団 体]

ふ り が な 名 称	おおさかふしんりんくみあい 大阪府森林組合
所 在 地	大阪府大阪市中央区馬場町 3 番 3 5 号
代 表 者	代表理事組合長 ^{な か た に た く じ} 中谷 卓司 随行者（ ^{すがぬまはじむ} 菅沼 肇）
功績の概要	同森林組合では府内森林の水源かん養機能の強化を目的として、長年にわたり広域にわたる水源かん養保安林の指定に協力している。 豊能支店管内において、平成 3 年度以降、府営・補助造林事業を実施するとともに、平成 8 年からは能勢町森林組合が積み立てた“健全林育成積立金”からの助成交付による健全林育成事業を創設し、能勢町内の森林の保育、保全に努めることにより、水源林等の整備に貢献している。また、平成 1 3 年からはこれら事業を府全域で実施し、府内の森林の適正な管理を通じて活力ある森林の造成に大きな力となっている。 一方、自然環境に恵まれた森林の保全を目的とする「大阪府立北摂自然公園」指定に際し、組織並びに組合員をあげて協力するとともに関係者への働きかけにも尽力し、広域かつ早期の同公園指定に寄与した。 また、府が平成 12 ～ 14 年度に実施した能勢町域での住民参加型生活環境保全林整備事業の実施に際し、「地黄住民参加森づくり協議会」の事務局を担当するなど、積極的に住民参加による森づくりの支援に努めている。

[団 体]

ふ り が な 名 称	かまて 鎌手ふるさとおこし すいしんきょうぎかい 水仙きょうぎかい 推進協議会
所 在 地	島根県益田市西平原町 571-7
代 表 者	会長 齊藤 朗
功績の概要	同会の活動は平成2年「水仙の花咲く里づくり」を目的に始まり、当初は有志のみであった活動も今では地区全戸にその規模を広げている。 平成3年の活動当初より国道9号沿い約 700 m にわたりスイセンの球根の植え付けを行い、見ごろを迎える時期には自動車で訪れる観光客や市民に喜ばれている。 また、スイセン栽培地の開墾へと規模を拡大し、「水仙の里」の積極的PRにも取り組んでいる。その一つが石見空港でのスイセンのプレゼントであり、空港利用客に大変喜ばれ、さらに、平成13年からは、スイセンの開花にあわせたロードレース大会を開催するなど地域振興への貢献もみられる。 毎年約 10a (1,000 m²) の開墾により、スイセン栽培面積は 1.5ha (15,000 m²) までに 広がり、球根の植付け、草刈り等の作業には地域の老人クラブや小中学生も積極的に加わり行われている。こうした世代を超えた地区全体での取り組みの結果、鎌手のスイセンは周辺の景勝とも相まって、遠方よりもその花を楽しむ人々が訪れるほどになっている。

[団体]

ふりがな 名称	なかまちふくし さとすいしんかいぎ 仲町福祉の里推進会議
所在地	山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥乙3286番地
代表者	会長 楨 寅男
功績の概要	同団体は、昭和58年9月に「福祉の町づくり」を推進するための地域活動を開始したが、昭和60年度からは「住みよい町づくりのために今後何をすべきか」を考え、福祉の町づくりだけでなく、環境美化活動や奉仕活動、愛の声掛け活動など多方面の取組みへと団体の活動を積極的に展開している。 特に環境美化活動においては、毎年4月から10月までの毎月、定期的に約300人が参加して、国道287号線沿い1.1kmと町道3.9kmに約60本植樹されている町の花「コブシの木」の根元の除草を行うとともに、道路沿いの花壇約600㎡にコスモスの種やマリーゴールドなどの花苗を植栽し、日常的な手入れを行い、道路を行き交うドライバーの目を楽しませている。更に路肩・法面の除草や路面・側溝の清掃を他の地区に先駆けて実施するなど、その活動は、近隣地区の模範となるとともに、道路の美化及び愛護精神の普及向上に貢献している。 平成13年度に国土交通大臣表彰を受賞して以降も、こうした活動に継続して取組み、「自分たちの地区は自分たちで」という姿勢のもと、積極的な活動を展開している。

[団 体]

ふ り が な 名 称	にしかわぐちひがしぐちしょうてんしんこうかい 西川口東口商店振興会
所 在 地	埼玉県川口市並木2丁目17番16号
代 表 者	代表者 中村 茂
功績の概要	平成3年、行政による商店街の基盤整備にあわせ会員自らも工事費を一部負担し、商店街の環境美化と振興に本格的に取り組み始めた。近年、全国的に中心市街地の衰退化が問題となっているが、そうした早期の取り組みもあり、同商店街は潤いと賑わいに満ちた商店街として注目されている。 また、当初より続けられている商店街通り（700m）へのパンジー、ベゴニアなど年4回におよぶ花の植え替え作業やその日々の管理が評価され、市の助成制度が創設されたほどであり、商店街の緑化のみならず市のまちづくりへも貢献している。 この他、旧丸ビルの基礎杭に使われた松の木を再利用したフラワーポットや「蝶が舞うまちづくり」を目指した取り組みなどには独自性がみられ、このように年中花が飾られる商店街ではゴミや自転車の放置が激減し、環境美化への貢献とともに、商店街にも空き店舗がほとんどない状態で、商店街の活性化へも寄与している。 こうした活動が全国的に評価され、近年は講演や指導に赴くなど普及啓発活動にも力を入れている。

[団 体]

ふ り が な 名 称	ひゅうがし 日向市ふるさとの自然 ^{しぜん} を守る会 ^{まも かい}
所 在 地	宮崎県日向市財光寺 5 3 8 4 - 1 2
代 表 者	代表者 甲斐 誠二
功績の概要	平成 9 年に発足した同会の当初の活動は、市内の自然探索や調査等が中心であったが、平成 12 年からは「ひむかどんぐり千年の森づくり」として、市民や企業、行政が一体となって水を貯える「安定した森林」造りに取り組んでいる。 その活動内容は、どんぐりの種まきからカシ、シイ類の植樹、その維持管理等の一貫した照葉樹の森づくりであり、これまでの 5 年間で約 4.5 ヘクタール（45,000 m²）の面積を植樹してきた。この活動を運営してくために、「どんぐり株主制度」として誰もが自然の植生・常緑広葉樹を再生するために参加できる仕組みをつくっている。株主は毎年公募し、これまで延べ 1300 余名が株主として資金協力をしている。 また、平成 15 年からは地球温暖化防止のための植樹活動の必要性や森林の働き等を参加者に説明し、地球環境問題を視野に入れた啓発にも力を入れている。更に、平成 16 年 9 月には子どもを中心に樹木の名前や特性を知ってもらう「子ども樹木博士」を実施。森林に親しんでもらいながら将来につながる森林保護の精神を養うため、今後も継続の予定である。

[団 体]

ふ り が な 名 称	ほんかわ ち く ろうじん 本川地区老人クラブ連合会
所 在 地	広島県広島市中区榎町 1 - 1 0
代 表 者	会長 森原 清香
功績の概要	同会は、本川学区内の緑化・美化の推進を目的として、毎月約 100 名で河岸緑地や公園、道路で清掃や花壇づくり等の活動を昭和 50 年から約 30 年間にわたり行っている団体である。 特に、落葉期にほぼ毎日行っている公園等の美化活動や毎月 1 ～ 2 回行っている花壇の手入れなどの活動は、美しい環境の創出や快適に過ごせる地域づくりに大きく貢献している。 平成 10 年度からは市有地を借り受け、土いじりや園芸を通した健康と生きがいづくりの場として約 160 m²の「老人クラブのお花畑」を整備し、チューリップ、ホオヅキ、キク、スマレなど四季折々の草花を数百株栽培し、住民の憩いの場として親しまれている。また、このお花畑で育てられた草花は、公共施設や地域の住民に配布され、緑豊かな環境づくりの住民意識の高揚にも貢献している。 同会は、平成 14 年度に「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞したが、受賞後もこうした地道な活動を継続的かつ献身的に行っており、本川地区の緑化・美化の推進に大きく貢献している。

[学 校]

ふ り が な 名 称	ながおか しり つ かつら しょう が っ こう 長岡市立桂小学校
所 在 地	新潟県長岡市桂町8番地
代 表 者	校長 中村 カズ子
功績の概要	同小学校は、花づくりを子どもたちの「心の教育」に取り入れ、四季を通して地域の人々とともに花壇づくりを行うなど緑化活動を積極的に推進している小学校である。 また、近年では「花」に関するテーマを児童自らが設定し調査研究に取り組んだり、市内で開催される緑化関連イベントへ積極的に参加するなど、多彩な緑化活動を展開している。 平成15年度からは、旧校舎跡地（約7,000 m²）を「憩いの広場」とするため、整地から花壇、築山づくり、クヌギやウメの植樹など一年をかけて整備してきたが、平成16年の7月新潟・福島豪雨災害、同年10月の新潟県中越地震と二度にわたる災害に見舞われ、広場も大きな被害を受けた。 広場の復旧に向けて春を待ちわびる児童たちは、地区の小中学校と連携して「復興の春を花いっぱいにしよう！」を合言葉に、12月からチューリップの球根約7,800株をプランターに植えており、花づくりを通して、被災地の復興に向けた原動力としての活躍が期待されている。

[団 体]

ふ り が な 名 称	なるこ ちょう 鳴子町
所 在 地	宮城県玉造郡鳴子町字新屋敷 6 5 番地
代 表 者	町長 高橋 勇次郎
功績の概要	鳴子町は江合川の最上流に位置し，大崎耕土の水 源確保及び水源涵養のため，保安林の指定・改良・ 保全を昭和の初期から行ってきたこと等により，昭 和 54 年に水資源功績者表彰を受賞した。 その後近年では，平成 6 年度に町制 40 周年を記 念し，全町民及び流域住民によりオヤマザクラ・ケヤキ等の 広葉樹約 4,000 本を植樹し森林保護意識の高揚を図 った。翌年度からは中学校卒業記念植樹とし約 1,000 本の広葉樹を植樹する等、継続的な植樹活動 に発展させ緑化思想の普及啓発に大きな成果を上げ ている また、平成 6 年度に上水道の水源の森が伐 期令に達したことから皆伐され、水量不足になると いう事態が発生したことを契機に、「不伐の森づく り」として町民はもとより流域の住民の協力を得て 平成 8 年からブナやトチノキ等の広葉樹約 18,000 本を植 樹するとともに、その後の保育、下刈等の作業を通 じ、森林の大切さの理解、普及啓発に大きく貢献し ている その後も活動範囲・活動内容を順次拡大しており 水源の町としての緑化活動は、他の模範として大い に評価されている。